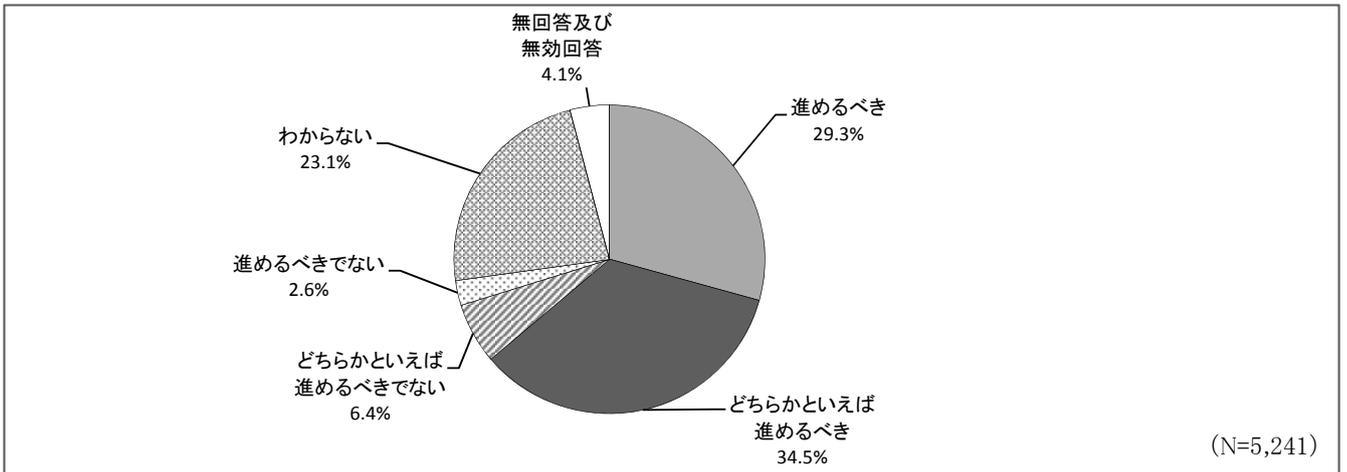


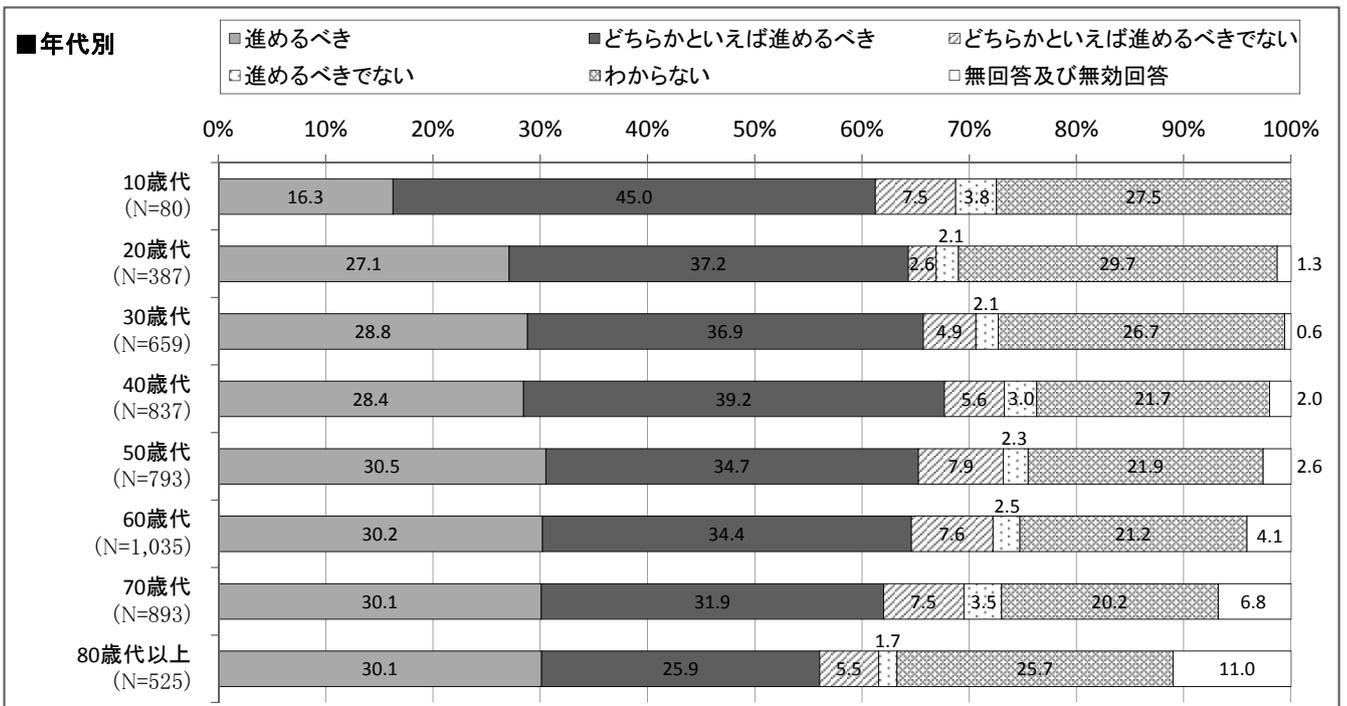
第15章 公共施設について

岡山市では、将来的な人口減少や老朽化に伴う公共施設等のまとまった更新時期の到来等を踏まえ、平成29年3月に学校や公民館、道路や下水道などの公共施設等について、安全安心で必要なサービスの持続的な提供に向けた「岡山市公共施設等総合管理計画」を策定し、取組を進めています。

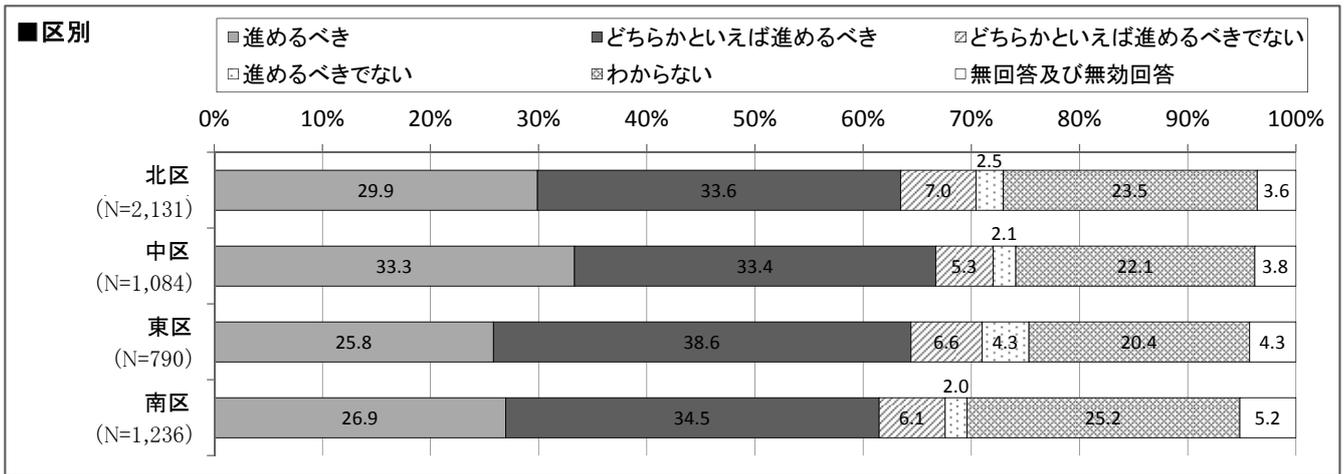
【問36】施設の集約化や統廃合、複合化・多機能化など規模や配置の適正化を進めることについてどう思いますか。



- ・「どちらかといえば進めるべき」と回答した人の割合が34.5%で最も高く、次いで「進めるべき」29.3%で、「進めるべき」「どちらかといえば進めるべき」と回答した人の割合が6割以上を占めている。
- ・「わからない」は23.1%となっている。

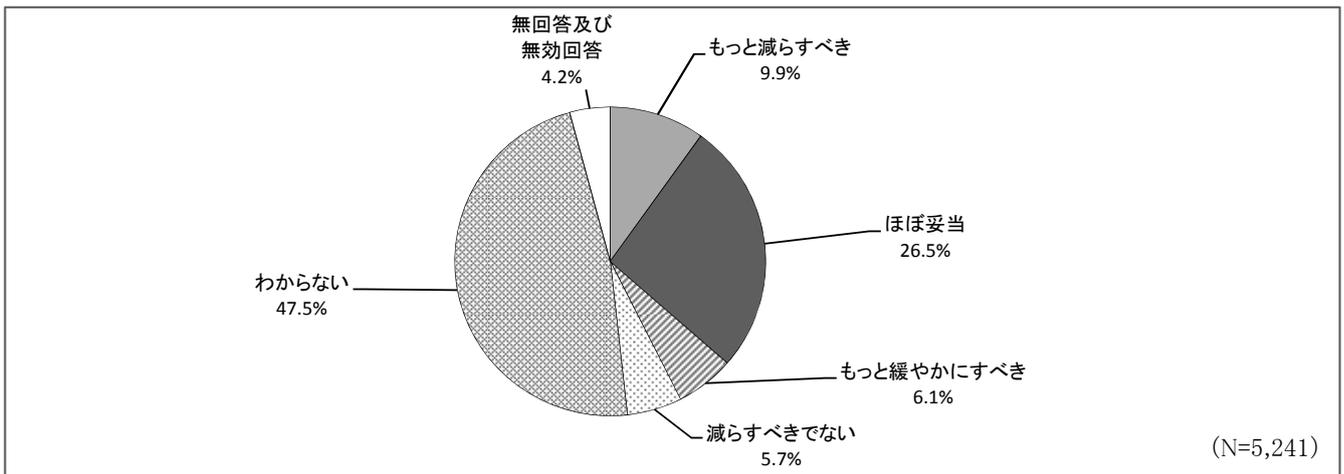


- ・年代別にみると、「進めるべき」「どちらかといえば進めるべき」と回答した人の割合は、40歳代が67.6%で最も高く、50歳代以上では、年代が上がるにつれて減少している。

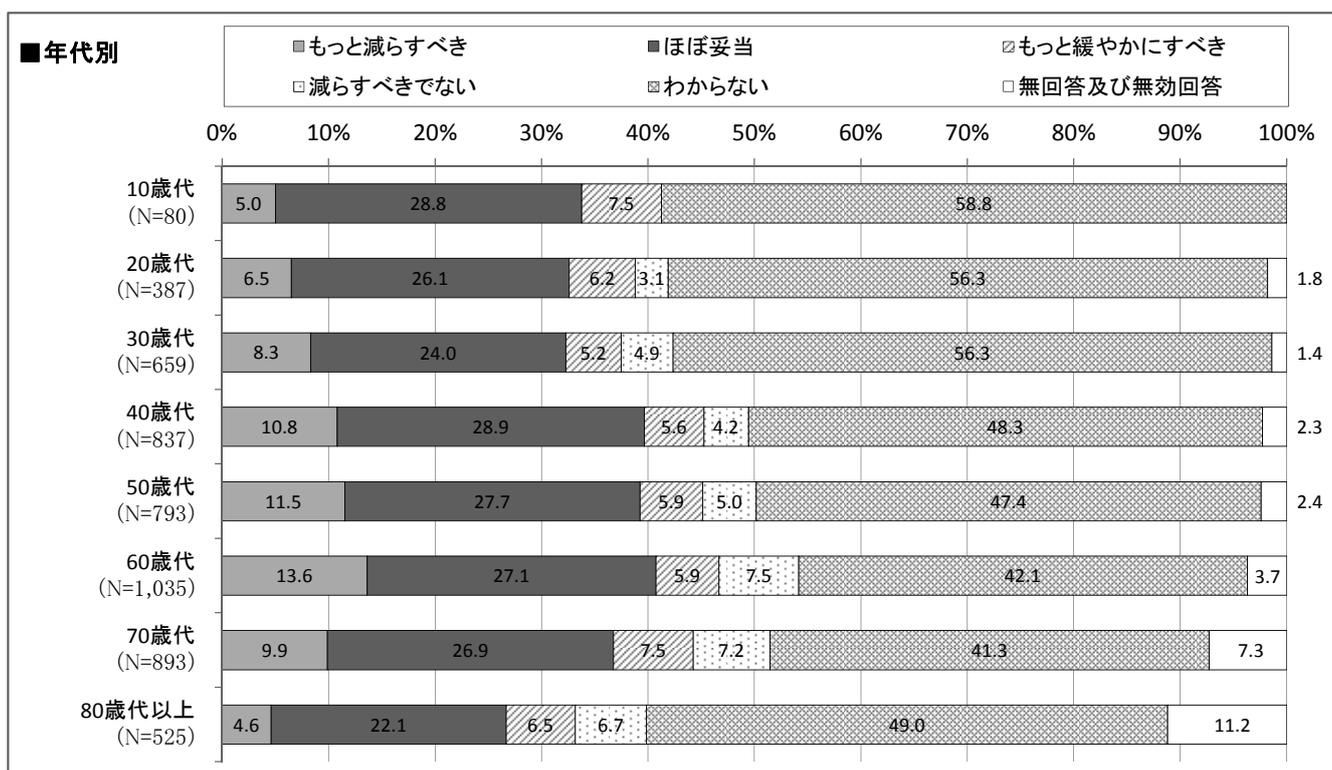


・区別にみると、「進めるべき」「どちらかといえば進めるべき」と回答した人の割合は、中区が66.7%で最も高い。

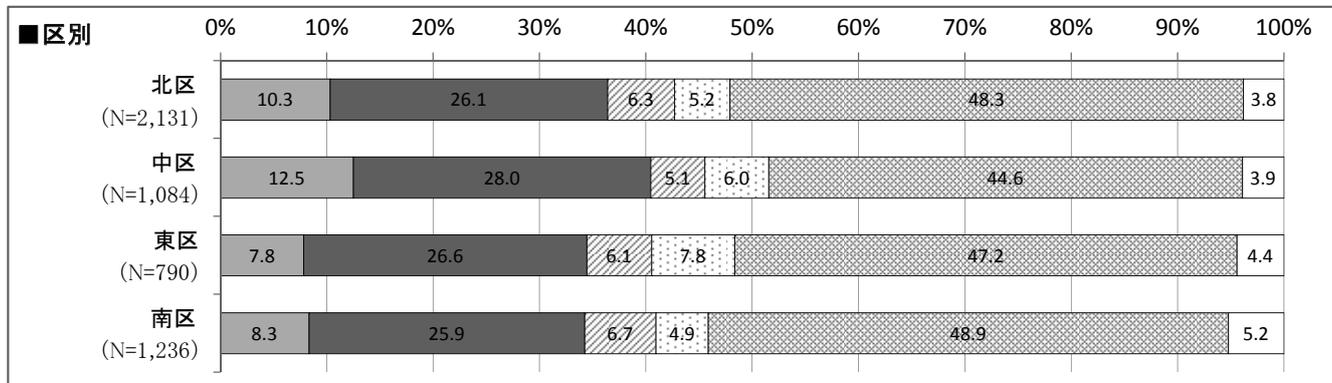
【問37】今後10年間で2%から4%程度の市有施設の総延べ床面積の削減を目指すことについてどう思いますか。



・「わからない」と回答した人の割合が47.5%で最も高く、次いで「ほぼ妥当」26.5%となっている。



- ・年代別にみると、「わからない」と回答した人の割合は10歳代から30歳代が高く5割を超えている。
- ・「もっと減らすべき」と回答している人の割合は60歳代が13.6%で最も高く、「ほぼ妥当」と回答している人の割合は、どの年代でも2割台である。



- ・区別にみると、「もっと減らすべき」と回答した人の割合は中区が12.5%で最も高く、「ほぼ妥当」と回答した人の割合も中区が28.0%で最も高い。